

斎藤竜興はわずか 13 歳で 1561 年に斎藤氏を引き継いだ。1564 年、斎藤一族の軍事顧問であった竹中半兵衛（1544–1579）は、斎藤一族の武士に侮辱され、竜興に侮辱した武士を処罰するように求めたが、竜興はそれを拒否したため、竹中半兵衛はわずか 16 人の武士で城を攻撃し、竜興の誤った命令に報復した。しかし竜興は大部隊の攻撃を受けたと勘違いし、自分の城と人々を見捨てて逃げた。竹中半兵衛は容易に岐阜城を手に入れたが、後に竜興に返した。その時の竜興のその臆病な逃亡は大きな不面目となった。

1567 年に織田信長（1534–1582）が攻撃したとき、竜興の軍隊の多くは彼らの主人の臆病を記憶しており、織田軍に投降したり、逃亡したりした。信長は斎藤家の要塞を比較的容易に手中に収め、それを「岐阜」と改名した。竜興は城から逃げ出し、1573 年に一条谷城の包囲の間に殺害された。